

支援プログラム



作成日令和7年3月24日

社会福祉法人久楽会 理念

「福祉はすべての人のために」の理念のもと、1人ひとりがそのかけがえのない人生の主演として輝き、満ち足りた毎日を送れるよう精一杯お手伝いをします。

支援方針

- ☆ご家族とスタッフとの信頼関係づくりに努めます。
- ☆子どもたちの小さなサインを受け止めて、大きな喜びを共有します。
- ☆笑顔で安心して過ごせる場となるよう支援していく。

児童発達支援

☼ 障害の特性と成長に応じて必要な支援を考えながら周囲の関係機関と連携し、地域社会の中で生きる喜びや楽しみを提供する

放課後等 デイサービス

☼ 個々の特性や発達の状況に応じたさまざまな体験を通して、成長を促す支援に努める。学校や関係機関との連携を図りながら、地域社会の一員として参加できるよう取り組んで行く。

営業時間

9:00～18:00

開所時間

9:30～17:00

送迎

あり

本人支援

健康 生活

来所時の健康状態の観察を行います。お家での様子をスタッフと共有し、心配事や不安の解決に努めます。看護師が常駐しています。必要に応じて医療的ケア児の対応(酸素吸入、吸引、経管栄養、導尿、痙攣時の対応など)をさせていただきます。

運動 感覚

子どもたち一人ひとりの活動能力に合わせたメニューの提案・検討を行います。季節の彩を肌で感じられるよう、施設前の大きな公園で過ごす時間も大切にしたいと考えています。

認知 行動

自然の中で得られる、風・光・音・匂いを体全体で感じられる時間を大切にします。季節感のある、月ごとのイベントを楽しみます。

言語 コミュニケー ション

スタッフや他者との関わりの中で興味のあるものを知り、共有します。目や全身の動き(指差しや身振り)、表情や発声などから本人の気持ちを汲み取り、一人ひとりに合わせたコミュニケーション方法により発達を促します。各種の文字・記号・絵カードを取り入れたり、「ジェスチャー」「ハンドサイン」などで本人の思いが伝えられるよう支援します。

人間関係 社会性

人と関わるのが楽しいと感じられ、自分の思いを周りに伝えることができるよう、遊びの中で社会性の発達を促します。
まわりの人やお友達の動きをみる・真似するなど「遊び」を通して対人関係の芽生えを促します。
職員やお友達との関わりを楽しみ集団活動に参加できるよう、職員が間に入りお手伝いをします。

家族支援

あわだ総合福祉センターには、子育て支援センター、一時預かり室、病児病後児センター、看護小規模多機能ホームがあります。お困りごとの相談も受け付けています。利用児のご家族を含めた支援が提供できます。

地域支援・地域連携/移行支援

ご家族からのお困り事に応じた専門機関への紹介や窓口への連絡方法などをお知らせします。

当施設を利用されている方に、一貫した支援が出来るよう必要に応じて他事業所と連携した支援の充実を図ります。

職員の質の向上

行政や関係団体主催の研修会への参加および事業所内で研修や勉強会を行います。個人単位での資格取得の推奨、研修結果の記録や閲覧、参加者による報告報告会等を実施していきます。

主な行事など

恵まれた環境を最大限に活用することで、子どもたちが日々の変化や季節感を味わいながら過ごせるよう年間行事・毎月の行事を計画していきます。

手作り感のある創作活動を職員と一緒に工夫し楽しむことを大切にします。

誕生月には、一人一人の成長に応じた思い出に残るような、お誕生会を実施します。

お子さん自身が「放課後等デイサービスあわだ」で過ごす喜び、充実した毎日が送れるよう工夫します。

